

2003年2月の日本の天候

少雨・少雪（北・東日本）

2月の天気概況

上旬前半は上空に強い寒気が南下し、東日本以南で気温が低く大雪となったところがあった。上旬後半からは、日本付近を短い周期で低気圧が通過し、天気は周期的に変化して冬型の気圧配置となる日が少なかった。このため、気温は全国的に高めに経過したが、北日本では下旬には強い寒気が入って低温となった。また、北・東日本の日本海側では平年に比べ晴れる日が多く、少雨・少雪となった。

上旬：前半は上空に強い寒気が南下し、東日本以南で気温が低く大雪となったところがあったが、後半には気圧の谷が通過し、冬型の気圧配置が緩んで気温が高くなった。**旬平均気温**は、東日本で平年並の他は高かった。**旬降水量**は、東日本日本海側と北日本で少なく、東日本太平洋側で多く、その他は平年並だった。**旬日照時間**は、北・東日本日本海側で多く、その他は平年並だった。

中旬：南岸を中心に日本付近を短い周期で低気圧が通過した。このため、天気は周期的に変化したが、北・東日本太平洋側では平年と比べ曇りや雨または雪の日が多かった。低気圧の通過後には一時的に寒気が入ったものの北日本中心で、東日本以南では気温は高めに経過した。**旬平均気温**は、南西諸島で高かった他は平年並だった。**旬降水量**は、北・東日本日本海側と南西諸島で少なかった他は平年並だった。**旬日照時間**は、北・東日本太平洋側で少なく、東日本日本海側で多く、その他は平年並だった。

下旬：中旬と同様に短い周期で南岸を低気圧が通過した。このため、天気は周期的に変化し、東日本以南では気温は高めに経過したが、北日本では一時強い寒気が入った。**旬平均気温**は、北日本で低く、東日本で平年並で、西日本と南西諸島が高かった。**旬降水量**は、東日本太平洋側と西日本日本海側で平年並だった他は少なかった。**旬日照時間**は、西日本太平洋側で少なく、西日本日本海側と東日本で平年並で、北日本と南西諸島が多かった。

2月の気候統計

平均気温：北海道で平年を下回り、特にオホーツク海側では平年を1℃以上下回った。一方、北海道を除いて全国的に平年を上回り、東海・近畿・中国の一部、四国の太平洋側、九州、南西諸島などでは平年を1℃以上上回った。

降水量：東海・近畿・中国・九州の一部で平年を上回ったほかは、全国的に平年を下回り、特に北日本、東日本、四国・九州の一部、南西諸島で平年の70%以下となったところがあり、さらに北海道の太平洋側、

東北南部、北陸・関東北部・甲信の一部、南西諸島の一部などで平年の40%以下となったところがあった。浦河（北海道）では平年の10%以下となった。浦河をはじめ全国の10地点で月降水量の最小値を更新した。

日照時間：北海道、東北の日本海側、北陸、甲信、四国、九州の東シナ海側、南西諸島などで平年を上回った。特に北海道の北部、北陸・南西諸島の一部では平年の120%以上となったところがあった。さらに北海道の北部の一部では平年の160%以上となったところがあった。稚内、北見枝幸（ともに北海道）で月間日照時間の最大値を更新した。一方、東北・関東・東海の太平洋側、西日本などでは平年を下回った。大島（東京都）で月間日照時間の最小値を更新した。

降雪・積雪：降雪の深さ、最深積雪とも全国的に平年より少なかった。

生物季節現象：ウグイスの初鳴きが平年並から早かった。

（気象庁観測部統計室）

2月の記録（1位更新のみ）

・月降水量の少ない記録（mm）

苫小牧	7.0	浦河	2.5	若松	15.5
輪島	58.5	相川	33.0	新潟	47.0
金沢	94.5	高田	149.0	（タイ記録）	
豊岡	111.5	南大東島	13.0		

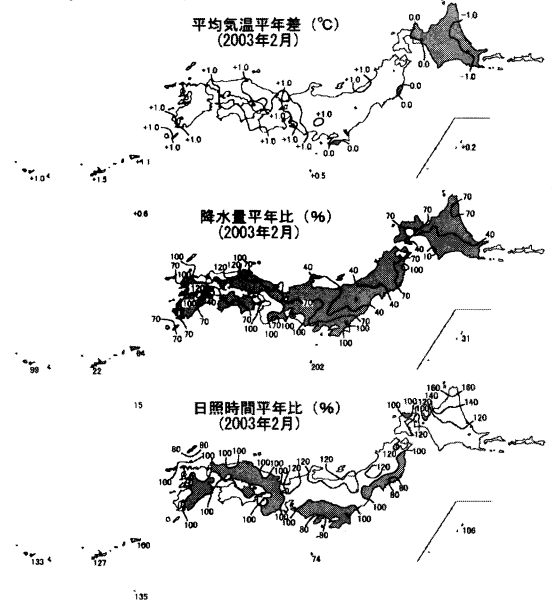
・日照時間の多い記録（時間）

稚内	142.5	北見枝幸	169.2
----	-------	------	-------

・日照時間の少ない記録（時間）

大島	108.8
----	-------

2003年2月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い（少ない）地域を示す